

経営比較分析表（令和元年度決算）

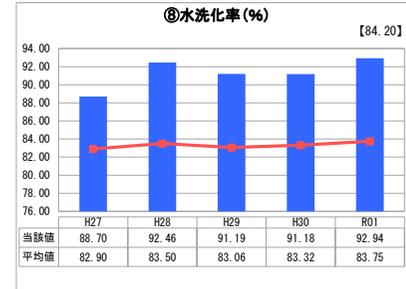
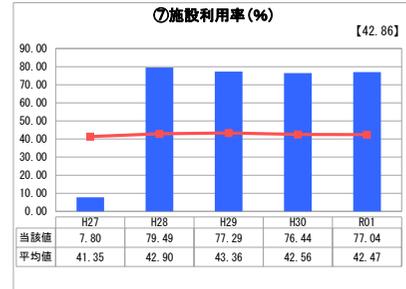
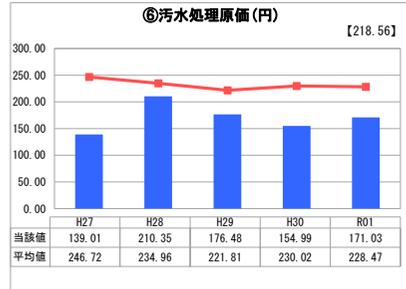
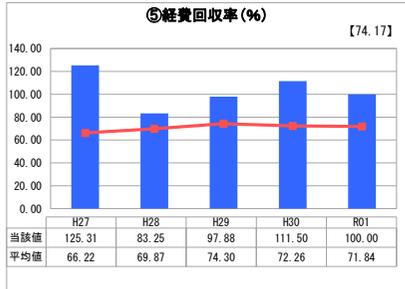
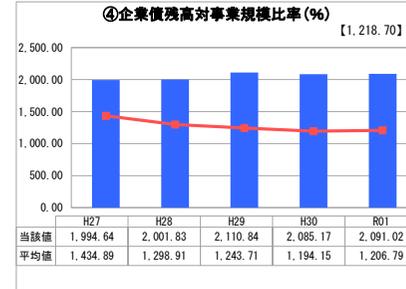
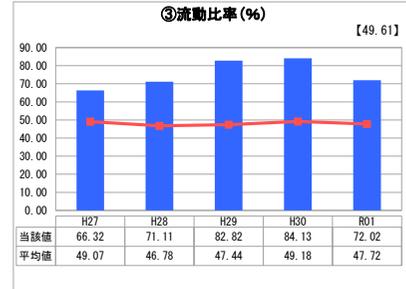
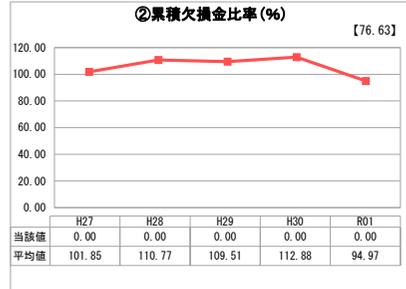
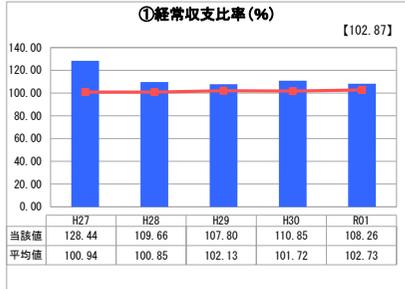
山梨県 甲府市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	41.26	13.79	40.16	2,431

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
187,880	212.47	884.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
25,804	8.87	2,909.13

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

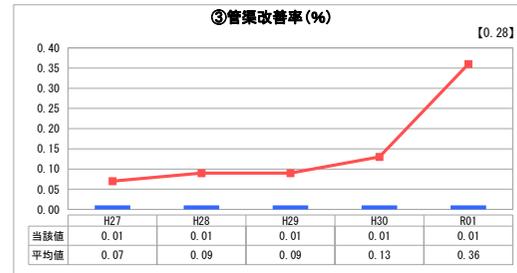
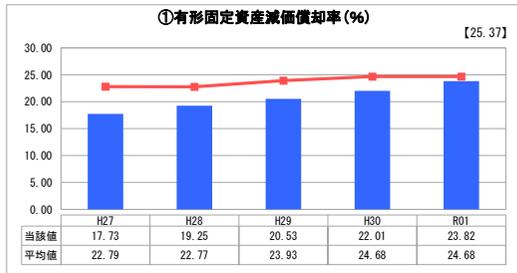
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、前年度に続き、100%を維持しており、下水道使用料や一般会計繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用を賄っている。流動比率は、類似団体平均値を上回っているものの、企業債償還額が大きく、100%を下回っている。なお、短期的な債務に対しては、下水道使用料収入や一般会計繰入金・国庫補助金等で賄うことができ、支払能力は確保できている。企業債残高対事業規模比率は、企業債の残高が影響し、前年度とほぼ変わらず高い比率である。経費回収率は使用料収入の減少により前年度に比較し、低下している。汚水処理原価の増加要因は、前年度に比較し、年間有収水量が減少したことによる。施設利用率は、類似団体の平均より高く、処理量に合った施設能力・規模といえる。水洗化率は、類似団体の平均より高い数値であるが、今後も効果的な普及活動を進め、水洗化率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率及び管渠老朽化率は、建設からの経過年数が短いため、低い数値となっている。管渠改善率は、法定耐用年数を経過した管渠がなく、改善を必要とする管渠が少ないため、類似団体と比較し低い数値となっている。今後においても、アセットマネジメントの手法を取り入れた計画に基づき、施設の適切な維持管理を行うとともに、更新投資の最適化を図り、施設や管渠の改築を効果的に進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市の下水道事業は、人口減少や節水機器の普及等に伴う水需要の減少傾向が継続する厳しい経営環境のなか、経営の健全化に努めてきた。今後も、平成29年度に策定した「甲府市上下水道事業経営戦略」における事業を推進する中で、老朽化する施設の更新・強靱化等を図るとともに、中・長期視点に立った効率的・安定的な事業経営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。